

第3次 千代田区子ども読書活動推進計画の概要

1

第3次子ども読書活動推進計画とは

子どもの表現力、論理的思考力、想像力等を育てるうえで、読書は不可欠であり、乳幼児・児童期における読書習慣の形成は、青年期以降の社会生活の基盤として重要な役割を果たすと考えられています。平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行され、国、都道府県、市区町村の各レベルで、子どもの読書活動推進に係る計画の策定とその具体的な施策の展開が始まりました。

千代田区では、こうした状況を受け、平成19年3月に「千代田区子ども読書活動推進計画」を、平成26年3月に「第2次千代田区子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動の推進に取り組んできました。

今回、第2次計画の計画期間が終了したことから、これまでの成果と課題を踏まえ、今後の施策の基本方針と具体的方策を明らかにするものです。

○国の計画

平成14年8月 「子ども読書活動の推進に関する基本的な計画」

平成20年3月 第二次「子ども読書活動の推進に関する基本的な計画」

平成25年3月 第三次「子ども読書活動の推進に関する基本的な計画」

平成30年4月 第四次「子ども読書活動の推進に関する基本的な計画」

○都の計画

平成15年3月 「東京都子ども読書活動推進画」

平成21年3月 「第二次東京都子ども読書活動推進画」

平成27年3月 「第三次東京都子ども読書活動推進画」

2

第2次子ども読書活動推進計画の成果と課題

【第2次計画に基づく取組みと成果】

1 子どもたちへの読書活動支援の充実

- ・平成28年度から、千代田図書館、四番町図書館に加え、神田まちかど図書館でも「おはなし会」を開催し、読書に親しむ機会を増やしています。
- ・平成29年度には、千代田図書館において、中高生専用ルームと専用席を設置し、中高生の利用環境の充実をはかりました。
- ・学校支援活動では、学校支援担当司書が区立の小学校・中学校へ週3回、保育園・児童館・幼稚園・こども園へは月2回訪問し、読み聞かせやブックトーク、図書館オリエンテーションのほか、授業支援、学校図書館の蔵書構築の支援など、様々な活動を実施しました。

2 千代田区子ども読書調査の実施

平成27年度から、区立学校の子どもたちの読書の現状や変化を把握するため、毎年、区立小・中、中等教育学校（前期）の児童・生徒を対象に「子ども読書調査」を実施し、調査結果を区ホームページにて公開するとともに、各校と結果を共有し、読書活動の推進に取り組んでいます。

3 区内私立学校との協力・連携の進展

区内の公立・私立学校の児童・生徒を対象とした「出張読み聞かせ講座」を開催するほか、希望する私立学校へは、ブックリストやイベント情報など読書活動に関する情報提供を行っています。

【現状における課題】

1 特別な支援を必要とする子どもへの読書活動

図書館で行う特別支援のサービスについては、必要な支援を検討し、実用化する必要があります。

また、支援対象に発達障害や外国語を母国語とする子どもたちも含め、必要な支援に取り組んでいく必要があります。

2 子どもを取り巻く大人への支援

講座や講演会等の取組み以外にも、千代田区立図書館ホームページや学校等の関係機関を通じた幅広い情報提供のあり方を考えつつ、家庭や地域における支援を行う必要があります。

3 ボランティア活動の支援

読書ボランティアの地域の活動の場や機会の提供が広がられていないため、区内施設などとの連携により活動範囲を広げることが求められています。

3

第3次計画の目標

1 読書の楽しさ、素晴らしさにふれる

子どもの読書意欲を喚起させるため、子どもの成長過程に応じ、子どもに本の魅力、読書の楽しさ・素晴らしさにふれる取組みを進めます。

2 読書の大切さを知る

様々な手段を通じて多くの人に本の魅力、読書の楽しさ・素晴らしさを実感できる機会を伝え、読書体験を促していきます。

3 読書環境をみんなで支える

家庭、地域、学校、行政、企業がそれぞれの強みを活かし、協力・連携を「深め」、様々な取組みを進めます。

また、様々な場面で活躍する、読書活動の推進に関わる人材を育成します。

4 基本的な視点 ～4つの視点～

- 1 乳幼児・小中高生を中心に、子どもの成長過程に応じたきめ細かい読書活動推進に向けた取組みを行います。
- 2 子どもだけでなく、子どもを取り巻く大人も視野に入れ、読書活動の啓発を効果的に行います。
- 3 区の特徴を活かし、区間区民も対象として、家庭・地域・学校等と協力・連携を図りながら、読書振興に取り組みます。
- 4 読書時間や読書冊数の増加といった読書活動の数値目標の達成を目的とするのではなく、読書振興につながる読書環境の改善と発展を目指します。

5 実施期間

令和元年度～令和5年度までの概ね5年間

6 読書活動推進に向けた施策（●継続、○拡充、◎新規）

1 子どもの成長過程に応じた取組み

子どもたちが本の魅力、読書の楽しさ・素晴らしさにふれるため、子どもの成長過程に応じて、読書活動を推進していきます。

(1) 乳幼児の読書活動

《概要》乳幼児期に本に親しむことは、子どもの言葉を育てるだけでなく、心や想像力を豊かにします。本を通じた親子の楽しい経験、ふれあいの時間を作り、親子の絆を深める活動を進めていきます。

- ブックスタートとフォローアップ
- 子育て・教育関連施設への司書の訪問
- 区立図書館等でのおはなし会の開催
- おすすめ図書資料の紹介
- 保護者・教職員向けの支援
- 団体貸出
- ◎リサイクル本の活用促進

(2) 小学生の読書活動

《概要》小学生は自分で本を選び、読めるようになる時期への移行期にあたります。本に対す

る親しみを深め、読書への関心を高め、読書習慣を育みます。

- 学校支援
- 夏休み「こども一日図書館員」
- おすすめ図書資料の紹介
- 学校図書館連絡会
- イベントを通じた読書活動
- 学校ごとの取組み
- ちよだジュニア文学賞
- 保護者・教職員向けの支援
- 団体貸出
- ◎ リサイクル本の活用促進

(3) 中高生の読書活動

《概要》中高生は周囲から様々な影響を受けながら、一人の大人として確立していく時期です。読書活動は、自分自身を見つめ、何かに感じ、何かに出会い、新たな自分を発見する絶好の手段です。小学生時代に育んだ読書習慣を成長への手段へ結び付ける活動を進めます。

- 学校支援
- 図書館体験
- おすすめ図書資料の紹介
- ◎ 中高生専用席・中高生専用学習ルームの活用
- 団体貸出
- 学校ごとの取組み
- ちよだジュニア文学賞
- イベントを通じた読書活動
- 学校図書館連絡会
- ◎ リサイクル本の活用促進

(4) 特別な支援を必要とする子どもの読書活動

《概要》読書活動の推進には、特別な支援を必要とする子どもたちへの支援も不可欠です。千代田区では、子どもだけでなく、大人も視野に入れて取り組んでいきます。

- 学校での取組み
- 関係団体との協力・連携
- ◎ 情報の提供・発信
- 読書活動への支援
- 団体貸出

(5) 私立学校との連携

《概要》千代田区には多くの私立学校があります。私立学校との協力・連携を積極的に進めていきます。

- 私立学校への情報の提供・発信
- 私立学校との協力・連携

2 読書環境の整備・充実

子どもの読書環境を整備・充実させ、子どもが読書を身近に感じる環境を作ります。図書館、学校、家庭、地域の団体がそれぞれの強みを活かし、協力・連携を深めます。

(6) 学校図書館の整備・充実

《概要》学校図書館では、図書の充実など、子どもの読書環境の整備を進めてきました。今後も子どもの良好な読書環境の整備・充実に努めていきます。

- 図書資料の充実
- 蔵書管理システムの活用
- 読書環境の整備
- ◎ 授業での学校図書館活用の促進

(7) 区立図書館の充実

《概要》区立図書館は、平成 19 年5月の千代田図書館リニューアルオープンに伴い、指

定管理者制度を導入し、民間の活力やノウハウを活用した質の高い多彩なサービスの提供を目指してきました。区立図書館相互が連携し、さらなる充実をはかっています。

- 図書資料の充実
- 子どもの読書活動支援

3 広報・啓発活動

千代田区には、本の魅力、読書の楽しさ・素晴らしさを実感できる機会がたくさんあります。様々な手段を通じて多くの人にこの機会を伝え、体験を促します。

(8) 子どもに対する広報・啓発活動

《概要》学校、区立図書館を中心に、子どもたちに本の魅力、読書の楽しさ・素晴らしさを伝えていきます。

- 子ども読書調査
- 読書活動に関する情報発信
- イベント・セミナーなどの開催
- ちよだ文学賞

4 子どもの読書活動に関わる人材の育成と活動支援

子どもの読書活動の推進には、本と子ども、そして子どもを取り巻く大人を結びつける「人」の存在が不可欠です。様々な場面で活躍する、読書活動の推進に関わる人材を育てます。

(9) 子どもの読書活動に関わる人材の育成と活動支援

《特徴》保護者、ボランティア、教員や子どもに関わる施設の職員など、様々な立場で子どもの読書活動に関わる方々に対し、学びの場の提供や活動支援をしていきます。

- 読書活動に携わる人材の育成
- ボランティア活動の支援
- 子どもを取り巻く大人への支援
- 専門的人材の配置